



アクテノン

NO.100

名古屋市演劇練習館機関紙

エッセイ

「追悼」という名の芸能



「江崎順子のカーテンコール
～劇団・夏蝶のあゆみとともに」
'18年9月9日～10月3日
演劇練習館資料コーナーにて



同上
追悼上演 '18年9月30日

6月某日、受け取った一通のメッセージで私の夏は一変した。そこには、大好きだった演劇の先輩、江崎順子さんが亡くなったとあった。混乱は深まるばかりだった。「必ずそこにいる」と信じていた人が、もう会うことも叶わぬ遠いところへ行ってしまった。

「何かせずにはいられない」……残された友人や芝居仲間が抱いた共通の思いだったろう。そこにアクテノンから「一階の資料コーナーを追悼のために提供しましょう」との提案が届いたことで、それぞれの思いは一気に具体化し始める。実行委員会がスタートし、プロジェクトは動き出した。

40年の間、演劇人として生きてこられた順子さんのこと、その活動を多くの人に伝えるのに「展示」は欠かすことができない。チラシもプログラムも写真も、重要な要素だ。でも、もう一つの要素が必要だった。それは表現者として生きぬいた彼女の魂と向き合い、真の意味で追悼すること。

当然の流れと言えそうだろう、「展示」と同時に「上演」企画が動き始める。この二つの要素で企画展「江崎順子のカーテンコール～劇団・夏蝶のあゆみとともに」が創り上げられていった。

まずは、亡くなる直前まで交流を続けたわらしべ長者さんが、生前の順子さんの「声」とのコラボレーションで井上ひさし作「父と暮らせば」を朗読することを決めた。しかも9月のすべての日曜祝日

白樺 八青 (ボイスパーフォーマー)

に。それを追うように、かつて交流のあった方々が、次々と実行委員の思いに添えてくださり、これまでに類を見ない追悼企画が形になっていった。

企画初日には、順子さんのお兄様をはじめ、劇団・夏蝶メンバー、演出や台本を手がけた方々による順子談議に花が咲き、二日目以降は朗読、演奏、舞、ダンス、歌……と様々な芸能の花々が咲き続けた。印象的だったのは、出演された多くの方から聞いた「すぐ近くに順子さんを感じた」という言葉だった。

上演企画最終日となった9月30日、名古屋に超大型の台風が直撃した。世間のイベントがほとんど中止されるなか、「順子さんへ捧げる」という原点に立ち、集まれるメンバーだけでもやろうと決定した。奇跡的に晴れ間さえのぞく空のもと、予定メンバー全員が集まった。お客様も思いのほかたくさん来てくださった。「私たちはやるよー！」気づけば最後には、決意表明の声が色とりどりに響いていた。

順子さんを失った私たちは、約1か月という時をかけて、これから先の道しるべを探し当てた気がする。思えばこの企画を通して新たな出会いもいただいた。

「生きて!」「表現し続けてね」耳を澄ますと順子さんの声が聞こえてくる。カーテンコールの幕が下りた今、私たちは、次のステージに立たされていることを知った。

トピックス

みんなの憩いの場



アクテノンフェスティバル
'18年10月6日
演劇練習館野外劇場にて

はじめまして、津軽三味線処いこい 主宰・講師をしております松永兼治です。

2011年よりアクテノン教室を開講し、今年で早7年目を迎えました。津軽三味線を習いに教室に通う生徒さんは、世代も志も様々です。近所に三味線教室があったから入会した小学生。時代劇が好きで三味線も弾いてみたいという小学生。ライバルに負けたくないという高校生。プロの演奏を観て感動して入会した生徒さん。日頃の生活から離れ、三味線の時間は夢中になれる生徒さん。みんなきっかけは違うけれど、次第に津軽三味線と深く向き合い、当初にはなかった発見や魅力が増え、やがて三本の糸に皆の想いが集まるのです。それは「お客様の前で弾いてみたい!」です。目標のステージが決まれば、そこから一気に練習にも気合いが入ります。10月に開催のアクテノンフェスティバルにも毎年参加させていただいており、そこでの演奏披露を目標に練習に励む生徒さんも。また有難いことに、「なかむらい

松永 兼治 (津軽三味線処いこい 主宰・講師)

イベント盛り上げ隊」では、中村区を中心としたデイサービス施設や各学区のイベントアトラクションとして、これまで数多くの出演オファーをいただき、演奏の場を広げております。津軽三味線のライブを目標に、生徒同士が集まり、ああでもない、こうでもない、お客様に楽しんでもらうためにと自然に三味線のバチにも力が入ります。目標、練習、本番、達成感、この過程があるからこそ聴く人へ伝わるものがあると思います。お客様の笑顔や拍手は、演者への最高のご褒美ですね。生徒の練習場、演奏会場で出会う人たちが皆の憩いの場となるようにと、団体名を「津軽三味線処いこい」とつけました。

私も「三味線ロックユニットKUNI-KEN」として、国内、海外で演奏活動をしています。日本の伝統芸能、オリジナルの発信、演者としての挑戦を続けています。見る側から、見せる側へ。それは生徒も私も同じ環境にいます。だから生徒から学ぶこともたくさんありますね。全ての出会いに感謝です!

■ 「アクテノン・フェスティバル」が行われました！

去る10月6日・7日の両日、アクテノン利用団体と名古屋音楽大学の出演者が野外劇場で練習の成果を発表しました。6日は、口笛や津軽三味線を始めとする9団体の楽しいステージを大勢のお客様にご覧いただきました。7日は、バレエや阿波踊りを始めとする7団体が魅力溢れるステージを繰り広げました。

最後に行った全団体でのコラボレーション企画では会場が一体となって大いに盛り上がりました。

ご参加された皆さま、本当にありがとうございました。来年も多数の参加をお待ちしております。



■ おかげさまで機関紙『アクテノン』は100号を迎えました！！

機関紙『アクテノン』は、今号で100号を迎えることができました。これまでにエッセイ・トピックス合わせて200名を超える方々に執筆していただきました。平成7年12月の開館以来、22年も続けることができたのは、ご愛読下さる皆様のおかげです。本当にありがとうございます。

なお、44号からのバックナンバーは、HPに掲載していますので、名古屋を中心に活躍する演劇人の軌跡をぜひご覧ください。

今後も、演劇の楽しさや情報等を皆様にお伝えしていきますので、長くお付き合いください。

HP: https://www.bunka758.or.jp/scd20_top.html

アクテノン利用団体紹介

①発足年 ②団員数 ③主な上演作品/会場(上演年) ④連絡先

演劇 しばいぬ海賊団



インプロ(即興演劇)のショーやワークショップを中心に、芝居以外にも落語、朗読、ラジオドラマといった「七つの表現の海」を冒険するパフォーマンス団体です。

2018年3月出航。

ベルベる☆なつみ・いぬちゃんで結成し、ハル・おちゃこが参加。現在は愛知を拠点に5人で活動しています。演劇部への出張ワークショップ、企業へのインプロ研修、イベント出演などのご依頼も受け付けております。詳しくは「しばいぬ海賊団」で検索！

①2018年 ②5名

③「しばいぬ海賊団インプロショーvol.2」/ Music Bar Perch('18年) 「しばいぬ海賊団インプロショーvol.1」/spazio rita('18年) 「稲葉地オープンライブvol.1」[アクテノン寄席] /演劇練習館資料コーナー('18年)

④ベルベる☆なつみ(共同主催)
HP: <https://sibainupirates.jimdofree.com/>
E-mail: sibainupirates@gmail.com

アクテノンに一言 機関紙100号おめでとうございます!!5月の「アクテノン寄席」では大変お世話になりました。アクテノンさんのような稽古場があることで本当に助かっています。これからもよろしくお願いします!

演劇 キクマサプロジェクト



キクマサプロジェクトとは、代表者の菊正が立ち上げ、主にアラフォーの役者中心に情熱溢れる芝居をお届けするプロジェクトです。菊正は20年程前に超光速トイソルジャーという劇団をやっておりましたが、程なく解散を迎え、そして当時の沢山の演劇仲間や友人が就職・結婚・出産等で舞台を離れていきました。

しかし今、我々の年代だからこそ出来る舞台があるはず!再び友人達が舞台に戻って来て、一緒に舞台を創り上げる日を願って鋭意製作しています。

①2017年 ②1名

③『安土桃山エレファント』/ナビロフト('18年) 『火事と喧嘩と恋の華』/ナビロフト('17年)

④菊正
twitter: [kikupro2017](https://twitter.com/kikupro2017)
E-mail: kikumasaapro@gmail.com

アクテノンに一言 こんなに演劇人にとって優しい施設は日本全国探しても珍しいと思います!大変お世話になっています。これからもよろしくお願い致します。

公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。※詳細は劇団へお尋ね下さい。①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

<p>ハラプロジェクト×TURTLE ISLAND パンク歌舞伎 『地獄極楽』</p>	<p>① 名古屋能楽堂 ② 12月21日(金) 19:00、22日(土) 14:00 19:00、23日(日) 14:00 19:00、24日(月・祝) 14:00 ③ 4,000円(当日4,500円) 学生3,000円(予約のみ) ④ ☎080-4229-4424 鉦・太鼓・念仏×パンクロック×歌舞伎 2年の沈黙を破って能楽堂がアチチアチチと地獄の猛火に燃え狂う。</p>
<p>天然求心カアルファ 20周年記念公演 第1弾 リトライ公演 『drug artist』</p>	<p>① PICO2 ② 1月26日(土) 12:00 16:00 20:00、27日(日) 12:00 16:00 ③ 1,500円(当日1,800円) 学生1,200円(当日1,800円) ④ tennen.alpha@gmail.com ☎090-7676-0899 (劇団) 天然は2019年で旗揚げ20周年を迎えます! 記念公演の第1弾は再演・新人公演です!</p>
<p>Theater BamBoo 5th Anniversary Original Musical 『MAKE UP』</p>	<p>① 名古屋市芸術創造センター ② 2月2日(土) 17:30、3日(日) 13:30 ③ 指定席(1階)2,500円(当日2,800円) 自由席(2階)1,500円(当日1,800円) ④ ☎090-6571-0848 Theater BamBoo(テアトルバンブー)も今年で5周年!ご期待ください!</p>
<p>劇団いがいと女子 通算6回公演 『いがいと女子』</p>	<p>① 青少年交流プラザ ユースクエア プレイルーム ② 2月9日(土) 14:00 18:30、10日(日) 14:00 18:30、11日(月・祝) 13:00 ③ 1,800円(当日2,000円) U-18 1,500円(当日1,800円) ペア3,200円(予約のみ) ④ e.guy.to.joy.she@gmail.com 作家2名×演出家1名×役者8名。今回の「いがいと女子」は豪華な2本立てです!</p>



編集発行/平成30年11月25日(年4回)

名古屋市長 名古屋市文化振興事業団 [演劇練習館「アクテノン」]

〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-47

TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632

※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



「友の会」会員募集中!
<http://www.bunka758.or.jp/>



施設からの情報をご覧ください!

